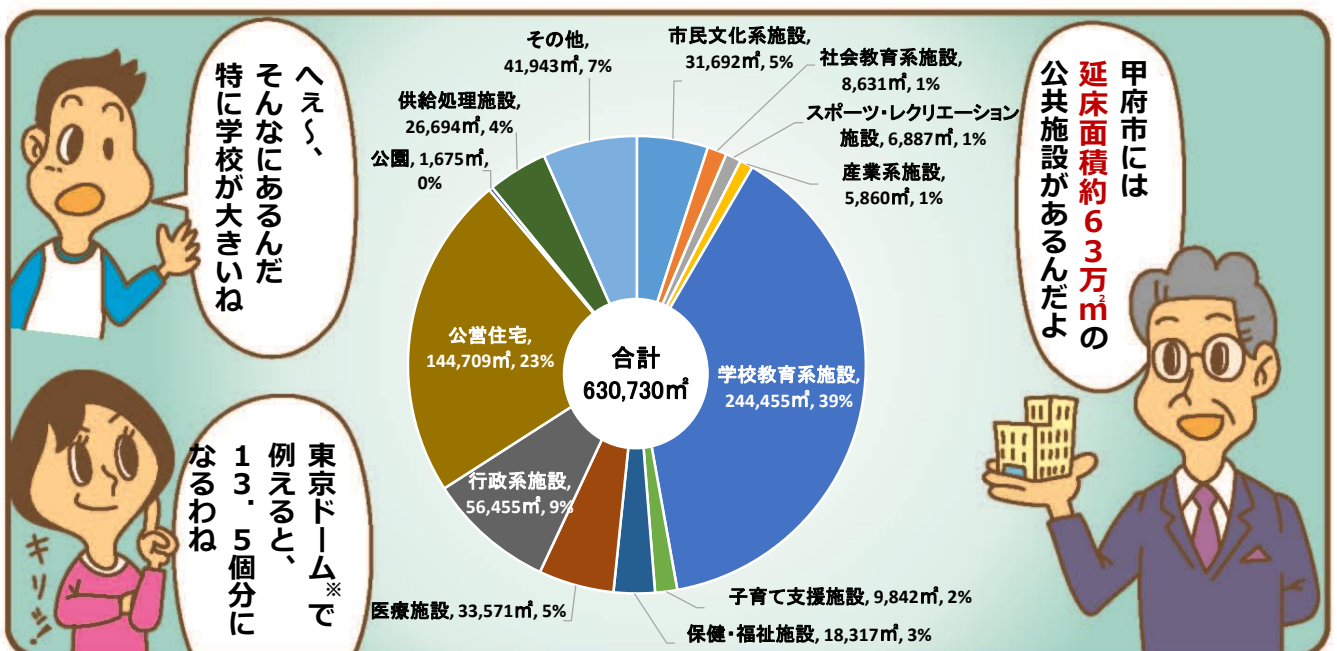


公共施設の今後について考えよう！

～次の世代へ安心して快適に利用できる施設を引き継ぐために～

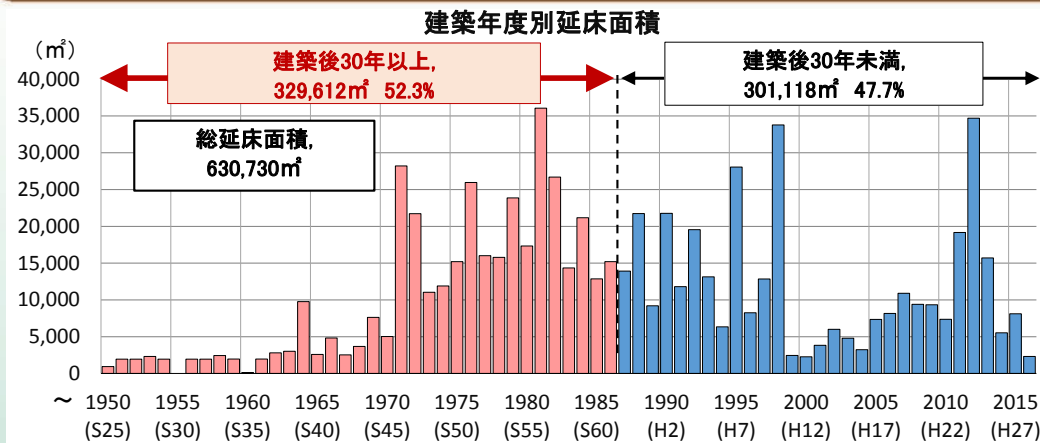


甲府市には、公共施設がたくさんあります。



※東京ドームの建築面積:46,755㎡

公共施設の多くが老朽化しています。



これらの施設の多くは、昭和40年代から50年代にかけて建てられているんだ



一般的に、鉄筋コンクリートの建物の寿命は60年程度と言われています。甲府市では、寿命の半分となる建築後30年を経過した公共施設が5割以上を占めています。

古い建物も多いんだね



私たちの学校もそれくらいの時期に建てられたのかな？



寿命が近づき、老朽化が進む建物では、天井や壁が崩れるなど、躯体の劣化に伴う大きな事故が起きる危険性が高まっています。



そう、まさに今日の授業のポイントはこちらです！



建替えにお金がかかるよ

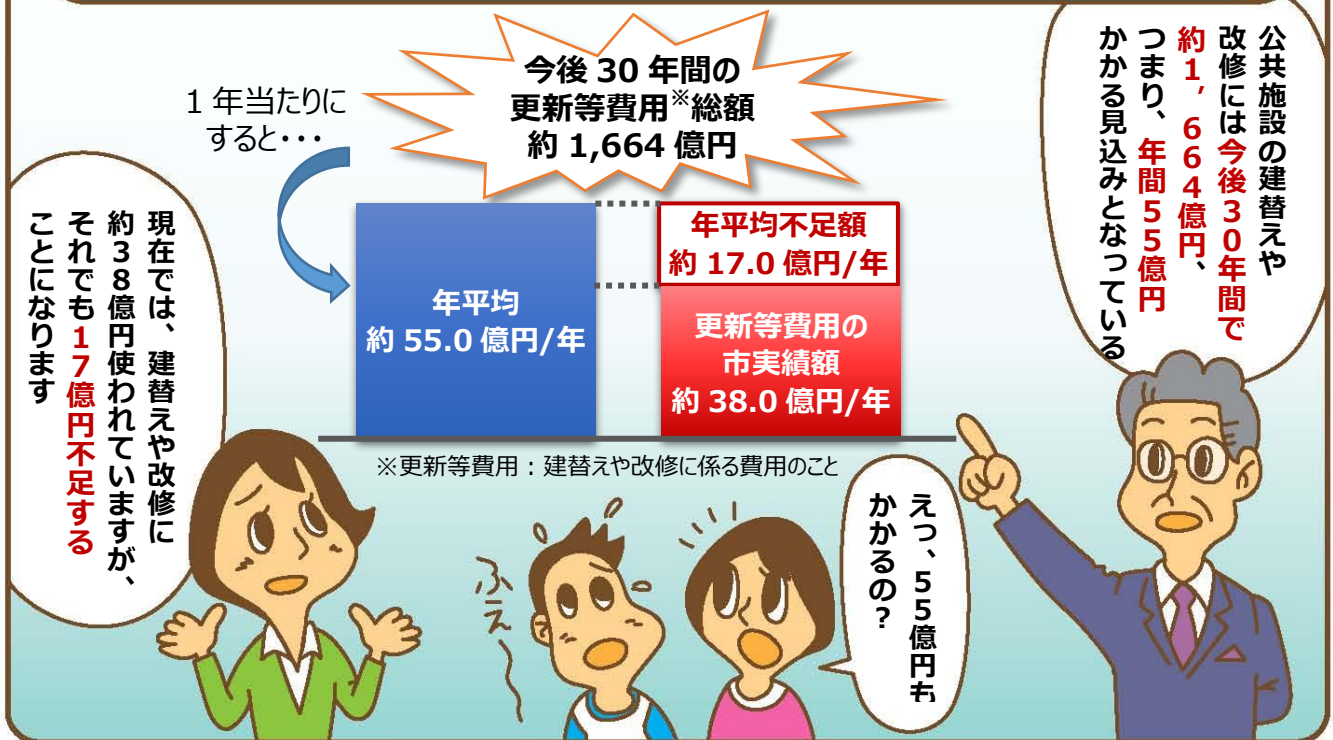


でもさ、古くなったら新しく建替えればいいじゃん！

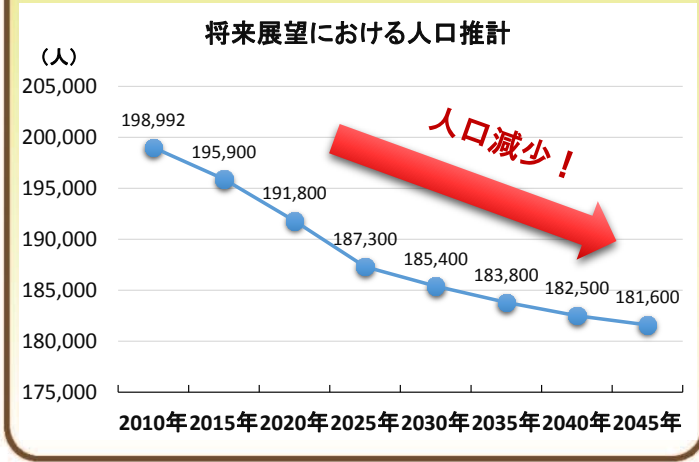
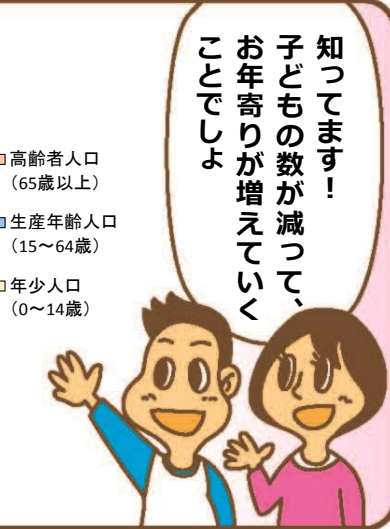
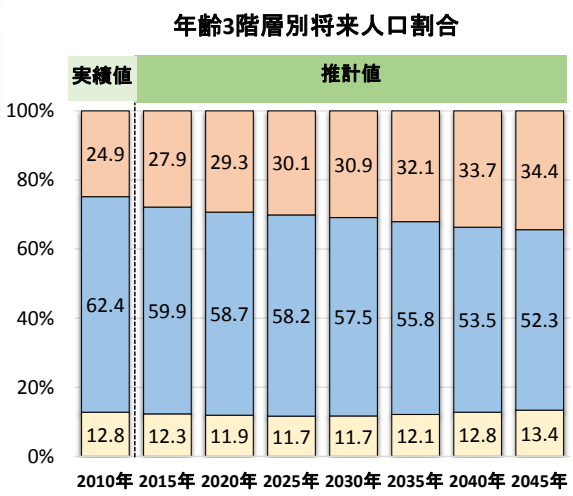
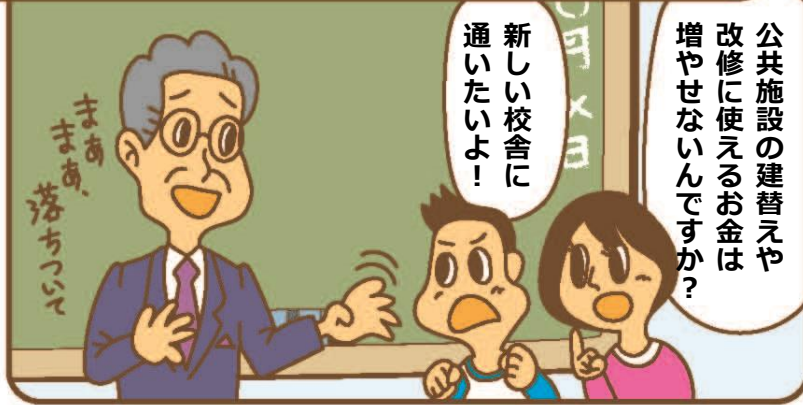
甲府市では、多くの公共施設の老朽化により近い将来一斉に改修や建替え時期を迎えようとしているんだ



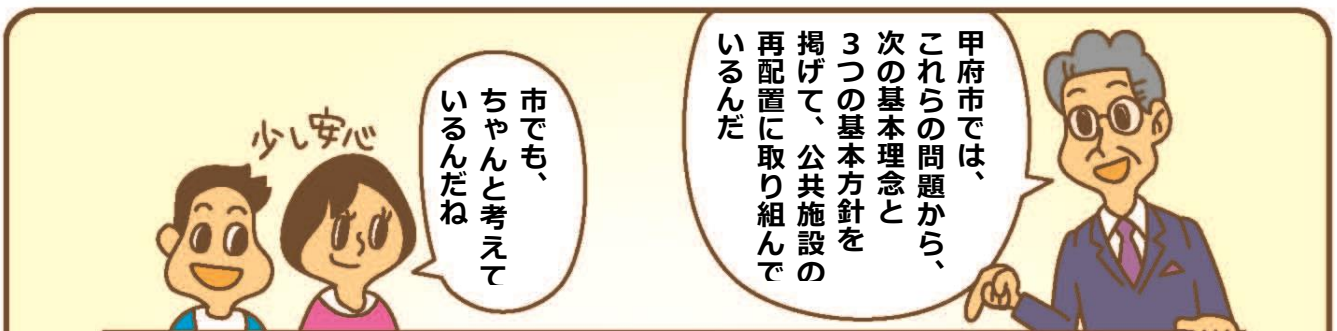
公共施設の建替えや改修には多額のお金が必要です。



財政状況は厳しくなることが予想されます。



公共施設の再配置に向けた取り組みを検討しています。



基本理念

次の世代に負担をかけず、安心して快適に利用できる施設に再配置する

3つの基本方針

- 1 適切なサービスを維持し、施設総量を最適化する
- 2 公共施設の安全を確保し、既存施設を最大限活用する
- 3 市民や民間事業者と連携し、効率的・効果的な管理運営を実施する



再配置による解決方法には、様々な取り組みがあります。



適切なサービスを維持し、施設総量を適正化する



公共施設の安全を確保し、既存施設を最大限活用する

予防保全・長寿命化



リスクの最小化

災害リスク等を考慮した
改修・機能移転



バリアフリー・ユニバーサルデザイン

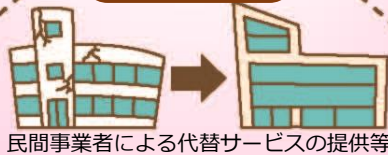
誰もが安全に、安心して円滑かつ
快適に利用できる施設にする



まちづくりを見据えた施設配置



民間施設等の活用



効率的な管理運営

省エネ対策や再生可能エネルギーの活用等



新たな事業手法

民間事業者等との連携による施設整備・管理運営

市民や民間事業者と連携し、効率的・効果的な管理運営を実施する



今後の公共施設を一緒に考え、取り組んでいきましょう！



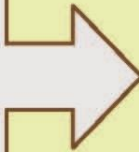
単純に保有量を削減するだけではなく、必要なサービスを維持、向上していく視点が重要ですね。



甲府市では、再配置によって、今後30年間で保有量を31%削減することを目標に取り組んでいるんだ



現在の公共施設



3つの視点で目標達成

みんなで、今後の公共施設のあり方を考えていきましょう！



最後に

公共施設のことをもっと詳しく知りたくなってきた

将来のために僕たちも一緒に考えていかなきゃね！

この公共施設では、こんな問題を抱えているよ！



もっと利便性やサービスを向上できる方法はないかな？



この目標を達成するためには、みんなで意見を出し合い、協力しながら取り組んでいく必要があるんだ



甲府市では、公共施設再配置計画を策定し、今後、市民の皆様に必要なサービスを維持しながら、建物の安全性と機能の向上を図り、次世代に安心して快適に利用できる公共施設を継承していくため、再配置の取り組みを進めています。公共施設を経営するという新たな発想へと転換を図りながら、財政負担の少ない、魅力ある公共施設の実現に向けた取り組みを着実に実施してまいります。

甲府市 総務部 契約管財室 財産活用課

〒400-8585 甲府市丸の内一丁目18番1号（本庁舎5階）

電話番号：055-237-5326